

MATSUI

すみぞ

角削りカッター SZ-082

取扱説明書



二重絶縁

このマークは、電氣的に安全な二重絶縁製品だけに表示される安全マークで、接地[アース]しなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

このたびはマツイの角削りカッターをお買い上げ賜り厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取扱と保守をしていただいで、いつまでも安全に効率よくお使いくださるようお願いします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



株式
会社

松井鉄工所

主要機能

主要機能	モデル	S Z-082
電圧		単相 100V
周波数		50-60Hz
消費電力		720W
回転数		11,000min ⁻¹
切削幅		82mm
切削深さ		最大 1 mm
重量		2.9 kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がございますので、ご了承ください。

注 意 文 の 警 告 注 意 の 意 味 に つ い て

 **警 告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注 意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注 意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

安全上のご注意

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、完全にご理解頂くまでは機械を作動させないでください。
- 火災・感電・怪我などの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」をお読みの上、必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- この取扱説明書は機械を使用される方がいつでもご覧になれるところに保管してください。
- 本機を絶対に改造しないでください。

警告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または濡れた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手が届かないよう錠のかかるところに保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に効率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業にあった電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業して下さい。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑りどめのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

 **警 告**

9. **保護めがねを使用してください。**
 - ・作業時は、保護めがねを使用して下さい。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用して下さい。
10. **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
11. **加工するものをしっかり固定してください。**
 - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用して下さい。
 - 手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
12. **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにして下さい。
13. **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - ・安全に効率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
14. **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグから電源を抜いてください。**
 - ・使用しない、または、修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビット等、付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
15. **調整キーやレンチ等は、必ず取り外して下さい。**
 - ・電源を入れる前に、調整に用いたレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。
16. **不意な始動は避けてください。**
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイアコード又はキャブタイアケーブルの延長コードを使用してください。
18. **油断しないで十分注意して作業を行ってください。**
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。



19. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取付状態その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店で修理を行ってください。
- ・スイッチで始動及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・取扱説明書及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

21. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・修理は必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

角剃りカッター安全上のご注意

- 先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、角剃りカッターとしてさらに次に述べる注意事項を守ってください。



1. 使用電源は、銘板に指示してある電圧で使用してください。
 - ・指示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、怪我、故障の原因になります。
2. 製品を雨中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。
 - ・感電の恐れがあります。
3. 使用中は、機体を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、怪我の原因になります。
4. 切削する材料は、安定性のよい台に置いてください。
 - ・台が不安定ですと、けがの原因になります。
5. 材料を手にとっての切削はしないでください。
 - ・刃に触れ、けがの原因になります。
6. 本機を万力などで保持して、刃を上向きにした使い方はしないでください。
 - ・刃に手や身体が触れ、けがの原因になります。
7. 使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。
 - ・思わぬけがの原因になります。
8. 体調の悪いときや無理な姿勢での使用はしないでください。
 - ・思わぬ怪我をする恐れがあります。
9. はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。
 - ・けがの原因となります。
10. 肩の高さより高い位置で使用しないでください。
 - ・けがの原因となります。
11. 使用中は刃や回転部に手、顔、衣類等を近づけないでください。
 - ・怪我の原因となります。
12. 切り屑が本体等にたまり作業の妨げになるときはスイッチを「切り (OFF)」の状態にし、プラグを電源より抜き刃物の回転が停止したことを確認してから掃除をしてください。
 - ・思わぬ怪我をする恐れがあります。
13. 使用中に機械の調子が悪かったり、異音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検、修理をご依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、思わぬ事故、けがの原因となります。
14. 電源プラグをコンセントに接続する前にスイッチが確実に切れるかどうか、切れた状態かどうかを確認してください。
 - ・事故となる恐れがあります
15. 誤って落としたり、ぶつけた時は、刃や機械などに破損や亀裂、変形が無い事をよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因となります。

注意

1. 使用中、コードを切断しないよう注意してください。
 - ・万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちにプラグを電源から抜いてください。
 - ・感電の恐れがあります。
2. 刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にしないと、はずれたりし、怪我の原因になります。
3. 刃の取扱には、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
 - ・不用意に扱うと、切り傷の原因となります。
4. 使用中は、機体の底面に手など身体を近づけないでください。
 - ・刃に触れ、けがの原因となります。
5. 刃の交換や調整後は、刃取付けボルトを十分に締め付けてください。
 - ・ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因となります。
6. スイッチを切った後も、惰性で回転している刃に注意してください。
 - ・手などが触れると、けがの原因となります。
7. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・けがの原因となります。
8. 使用中は、軍手など手袋を着用しないでください。
 - ・刃に巻き込まれ、けがの原因となります。
9. 材料に石、釘などの異物が無いことを確かめてください。
 - ・けがの原因となります。

注

- ・電源が離れていて中継コードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

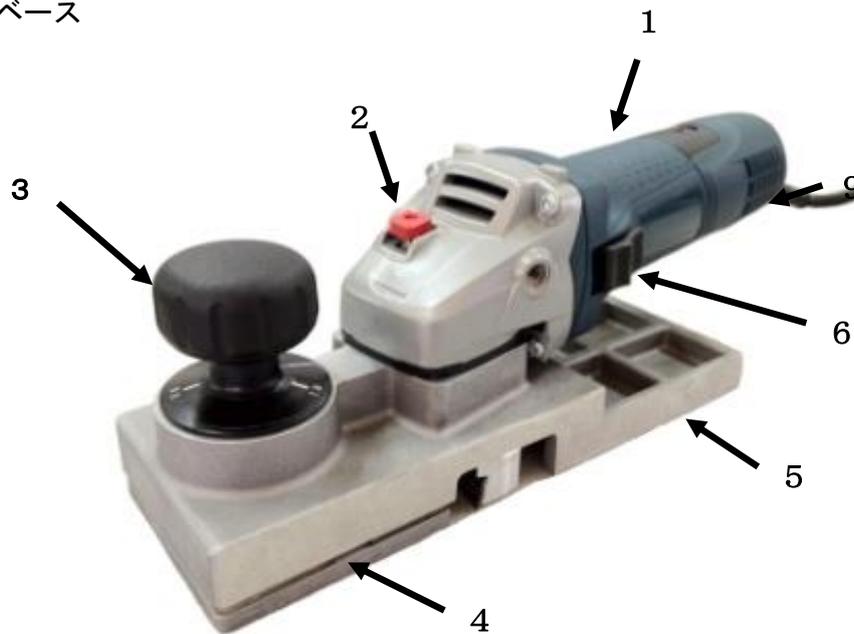
使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25 mm ²	10m
2.00 mm ²	20m

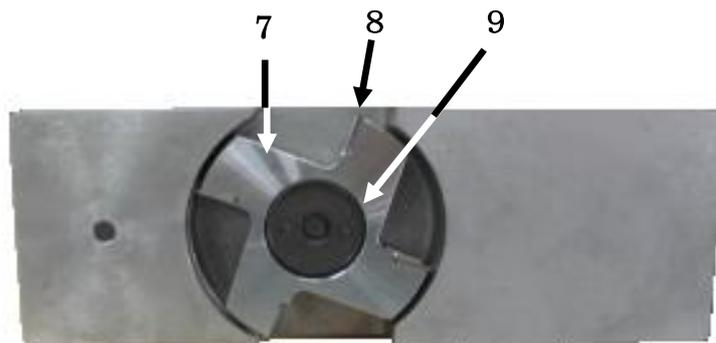
つなぎコードは本機のコードと同じような被覆を施したコードを使用してください。

各部の名称および通常付属品

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. モーター本体 | 6. 電源スイッチ |
| 2. スピンドルロックボタン | 7. ブロック |
| 3. 切削深さ調整ハンドル | 8. 刃（4箇所） |
| 4. フロントベース | 9. 締付ナット |
| 5. ホンタイベース | |

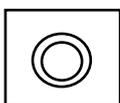


底面



標準付属品

・ 刃（4枚）



・ トルクスレンチ



・ 六角レンチ



使い方

切削深さの調整

- ・ 切削深さは切削深さ調整ハンドル（3）を使用し調整してください。
ハンドルを時計方向に回すと切削深さは深くなり、反時計方向に回すと切削深さは浅くなります。



目盛りの数値は切削深さを表しているものではなく、おおまかな調整値を表したものです。



スイッチの入れ方

・ スイッチの操作方法

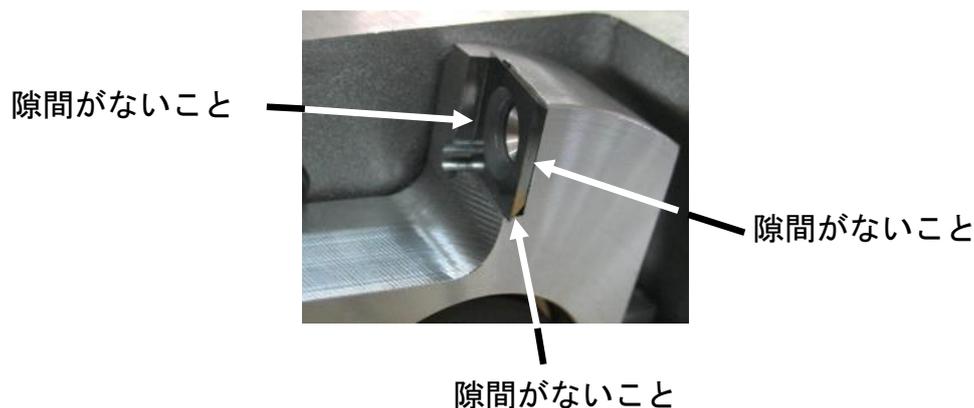
電源入：スイッチ（6）を先端方向にスライドさせ、スイッチの先端を押し込みます。スイッチが固定され連続運転します。

電源切：スイッチ（6）の後方を押します。スイッチが後方に戻り停止します。



刃物の交換方法

1. 本機の底面を上向きにし、付属の六角レンチを使用して、刃を固定しているナットを外します
2. 刃は4辺とも使用できますので、使用していない辺を切削面にして、ブロックに刃の2辺及び底面がしっかりと当たるようにセットします。
3. 付属の六角レンチを使用して、刃をしっかりと固定します。
4. 交換後は、刃がブロックと接触する面に隙間がないか確認してください。



刃の取り付け、取り外し方の注意点

⚠ 警告 : 刃の取り付け、取り外しの際は、必ずメインスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

⚠ 注意 : 刃の取り扱いには、必ず手袋、布などで手を保護し十分注意してください。

⚠ 注意 : 刃の締め付けは付属の六角レンチで十分に締め付けてください。
刃は4辺刃になっていますので、他の辺の刃を使用されるときは、刃やブロックに付着したヤニや汚れをきれいに取り除いてから取り付けてください。

⚠ 注意 : 刃を締め付ける前に、刃とブロックに当たる面に隙間がないか確認してください。隙間があるまま締め付けると刃が欠けたりする可能性があります。

削り方

1. 平面の加工

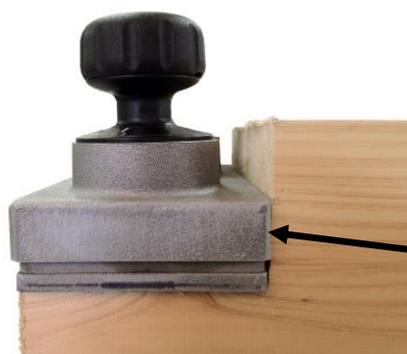
- ・切削する材料をしっかりと固定してください。
- ・フロントベース（4）を材料に乗せ、刃が材料に当たらない位置でスイッチを入れ、回転が一定になりましたら材料の上を滑らかに動くように前に進めます。

⚠ 注意 : 削り始めは、本体が右側に振れやすいので、しっかりと本体を保持してください。

2. 角（すみ）の加工

- ・切削する材料をしっかりと固定してください。
- ・フロントベース（4）を材料に乗せ、本体ベース（5）の左側面を材料の角面に当てながら、材料の上を滑らかに動かすように前に進めます。

⚠ 注意 : 本体ベースの右側面は、ベース面より刃が出ていませんので角まで削れません



材料の角面と本体ベースの左側面を当てる。

3. 保管方法の注意

- ・ベース面より若干刃が出ていますので、ベース面を下にして硬い所に本体を置きますと刃が欠けることがあります。ベース面を下にして置く場合は、柔らかい物の上に置いて下さい。

保守・点検について



- ・点検・整備の際は必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。プラグを電源につないだまま行くと、感電や事故の原因になります。
- ・修理は必ずお買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、故障の原因となり怪我の恐れがあります。
- ・メーカーの許可なき機械の改造は行なわないでください。思わぬ事故となる恐れがあります。

1. 各部取付けネジの点検

- ・ネジのゆるみがないか確認してください。もしゆるみがある場合は締め直してください。

2. 使用後の手入れ

- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石鹼水をつけた布で本体を拭いてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

3. 作業後の保管

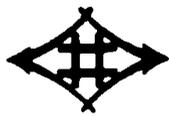
- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。
- ・小さいお子様の手が届かないところで、落下の心配ない場所に保管してください。

4. カーボンブラシの点検・設備

- ・本機にはカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシの磨耗が大きくなりますと火花が多くなり、モーターの故障の原因となりますので交換が必要です。
- ・1年に1度定期点検をお買い上げの販売店に依頼されることをおすすめします。
- ・短くなったカーボンブラシをそのまま使用されますと、モーター焼損の原因となります。

5. 修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- ・その他、部品のご入用の場合、あるいは取扱い上のご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。



株式
合社

松井鉄工所

MATSUI IRON WORKS CO.,LTD.

本社・工場 〒516-0005 三重県伊勢市竹ヶ鼻町70番地

TEL : (0596) 36-3346 FAX : (0596) 36-3598